

主題：神の建造する働き

メッセージ 6

相互の住まい

聖書：ヨハネ 1:14. 14:1-6, 20, 23. 15:4

- I. ヨハネによる福音書が啓示しているのは、どのようにしてキリストの中で、またキリストを通して、神が人の中へと入って来て、人をご自身の中へともたらずかということですか—— 1:14. 14:6, 20 :
- A. 肉体と成ることを通してキリストが来ることは、神を人の中へともたらずことでした—— 1:14。
 - B. 死と復活を通してキリストが行くことは、人を神の中へともたらずことでした—— 14:2-3, 6, 20。
- II. ヨハネ第 14 章 1 節から 6 節でわたしたちは、イエスが死を通して行き、キリストが復活の中で来て、わたしたち、信者を御父の中へともたらずことを見ます :
- A. 主イエスが行こうとしていたのは場所ではなく、生けるパーソン、すなわち御父ご自身でした—— 12, 28 節。
 - B. 主は御父に行こうとしており、彼の意図は、彼の弟子たちを御父の神聖なパーソンの中へともたらずことでした—— 5-6, 12, 20 節 :
 - 1. 主は肉体と成ることによって御父から来て、神を人の中へともたらし、御父に行って人を神の中へともたらししました—— 1:14. 14:20。
 - 2. 彼が行った方法は死と復活により、彼が行った目的は人を御父の中へともたらずことでした—— 6 節。
 - C. 2 節の「わたしは……行く」という言葉が意味するのは、主が死と復活を通して行って、人を神の中へともたらし、神の住まいを建造しようとしていたということです。これは、マタイ第 16 章 18 節で述べられている召会の建造です。
- III. ヨハネ第 14 章 2 節の「わたしの父の家」は、神の家としてのキリストのからだ、召会です :
- A. 第 2 章 16 節で「わたしの父の家」は、地上での神の住まい、宮を指しています。宮はイエスの体の予表、型であり、それは復活の中で拡大されてキリストのからだとなりました—— 19-22 節。
 - B. 第 14 章 2 節の「わたしの父の家」は、天を指しているのではなく、地上での神の住まい、すなわちキリストのからだ、召会を指しています。
 - C. 書簡において、キリストのからだは召会であり、召会が神の家であるという啓示が完全に発展しています—— I テモテ 3:15-16. I ペテロ 2:5. エペソ 2:21-22。
 - D. ヨハネによる福音書における御父の家はキリストのからだであり、それは地上での神の住まいとしての召会です——エペソ 1:22-23. 2:21-22. I テモテ 3:15-16。
- IV. 「わたしの父の家には多くの住まいがある」——ヨハネ 14:2 :
- A. 多くの住まいはキリストのからだの多くの肢体であり、それは神の宮です——ローマ 12:5. I コリント 3:16-17。

- B. キリストにあるすべての信者は、神の建物、御父の家における住まいです。この建物はキリストのからだであり、すべての住まいはキリストのからだの肢体です——エペソ 1:22-23. 2:21-22. 5:30. I コリント 12:27。
- V. 「あなたがたのために、場所を用意しに行く」が意味するのは、主が場所を用意し、贖いを完成し、道を開き、わたしたちが神の中へと入る立場を作るということです——ヨハネ 14:2-3, 6 :
- A. 死と復活によって、主イエスは道を整え、場所を用意して、わたしたちが神の中へともたらされるようにしました—— 20 節。
- B. 彼の死と復活によって、彼はわたしたちのために神の中で立場を用意しました。このようにして、彼はわたしたちのために神の中で場所を用意しました—— 2-3, 6 節。
- C. 神の中の立場は、拡大されており、キリストの中の立場になっています——ローマ 12:4-5. エペソ 5:30. I コリント 12:27。
- D. キリストにある信者として、わたしたちはみな神の中に場所を持ち、からだの中に場所を持っており、今やキリストの死と復活を通してわたしたちのために用意された場所の中で生きるべきです——ヨハネ 14:2-3, 20. I コリント 12:27。
- VI. 「わたしの中に住んでいなさい。そうすれば、わたしもあなたがたの中に住む」——ヨハネ 15:4 :
- A. キリストの来ることと行くことの結果は、神と人が相互に住むことです :
1. キリストは肉体と成って来ることによって、神を人の中へともたらし、また死と復活によって行くことによって、人を神の中へともたらししました—— 1:14. 14:20。
 2. 今や神と人、人と神は、相互の住まいとなります。わたしたちは神の中に住み、神はわたしたちの中に住みます。
- B. キリストの中で、キリストを通して、神は人の中にいます。神はわたしたちの住まいとなり、わたしたちは相互に神の住まいとなります。
- VII. 「だれでもわたしを愛する者は、わたしの言を守る。そしてわたしの父は彼を愛され、わたしたちは彼の所へ行行って、彼と共に住まいを造る」—— 23 節 :
- A. ここでわたしたちは、相互の住まいが建造されるのは、御父と御子が、彼を愛する者たちを訪れることによるということを見ます :
1. 御父と御子はわたしたちを訪れて、わたしたちの中で建造する働きを行ないます。
 2. 最終的に、わたしたちと彼、彼とわたしたちは相互の住まいとなります—— 15:4。
- B. 三一の神が信者たちと共に彼の住まいを造ることは、彼の住居の建造のためです——エペソ 2:21-22 :
1. 今日、神の住居の建造は、ヨハネ第 14 章 23 節に記述されたこの経験に完全にかかっています。
 2. このようにして主はわたしたちの間で神の建造する働きを行ないます——マタイ 16:18。